

UNITE

賃金 上げさせ よう!

2022
国民春闘

物価も上がるし働いてまともに
食えないんじゃないおかしすぎる

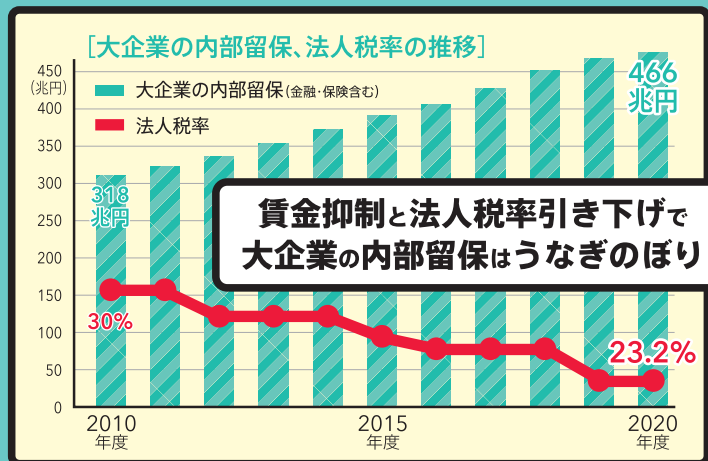
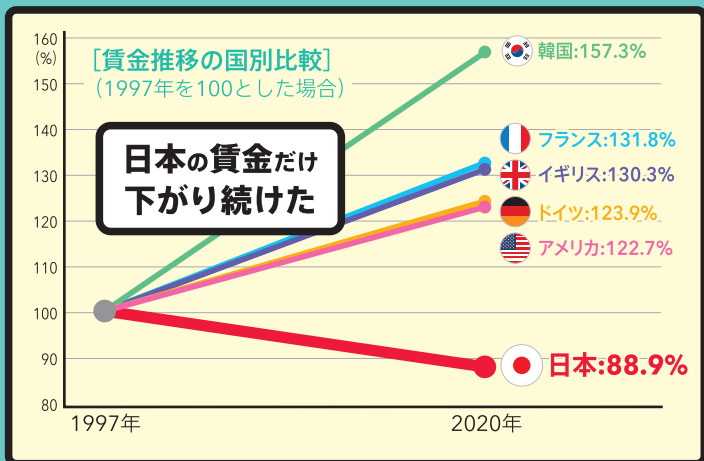
労働組合と一緒になら
できます。あなたも!



OECD主要国で、実質賃金が下がり続けてきたのは日本だけです。財界中心に賃金の抑え込みをすすめ、それを政府が後押ししてきた結果です。大企業などをつくる経団連でも日本の賃金の低さを認めつつも、個別企業の「総額人件費」管理の徹底を強調し、春闘の賃金引き上げを否定しています。

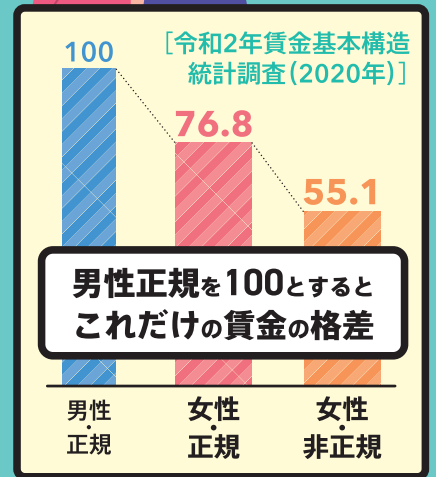
コロナ禍と物価高騰が国民の生活を直撃しています。「賃金が安くて生活が苦しい」「物価上昇でこれまでの生活水準が維持できない」「コロナ禍で、残業が減っ

て、収入が減り、困った」など切実な労働者の声をもとに、全労連・国民春闘共闘は、22国民春闘で、暮らし改善、景気回復の特効薬である賃金大幅引き上げと全国一律1500円以上の最低賃金を求めています。3月10日には全国で組合がストライキと統一した行動を背景に実現をせまる取り組みをすすめています。あなたも、ひとりで「しかたがない」とあきらめるのではなく、一緒に声をあげ、大幅賃上げ・底上げで誰もが希望もてる公正な社会の実現をめざしましょう!

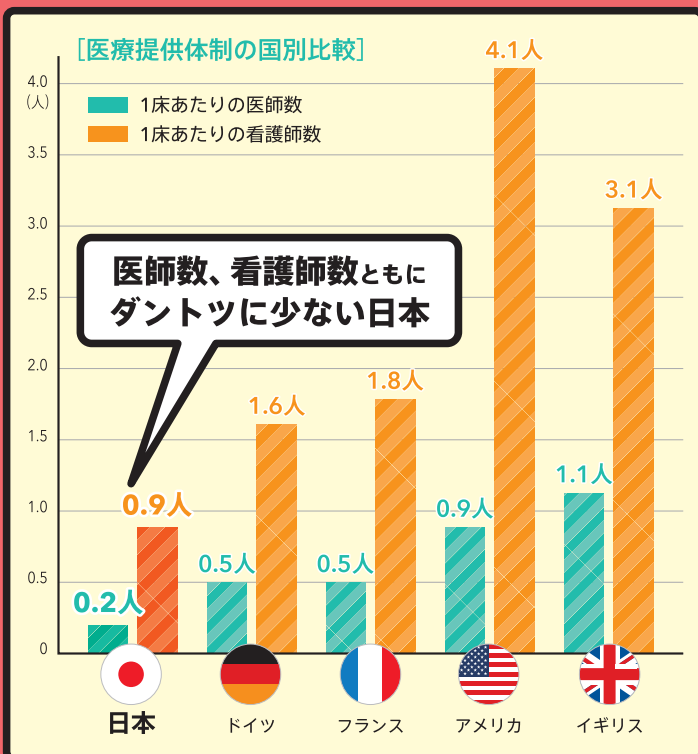


非正規差別NG! ジェンダー差別の 解消を!

懸命に働いてもまともに食べていくことすらできない労働者が増え続けています。特に、コロナ禍で飲食・宿泊サービスなどを中心に多くの女性非正規労働者が雇い止めや休業を強いられ企業の調整弁とされました。シングルマザーの世帯に耐えがたい苦しみ押し付けられており、ジェンダー差別の解消なしに根本的な改善は図れないことを物語っています。全労連・国民春闘共闘は、「ジェンダー平等の実現」「非正規差別NG」と同じ仕事なら同じ待遇を求め、賃金差別、雇用差別をなくす取り組みをすすめています。誰もが人間らしく生活できる社会をめざし、全国一律1500円以上の最賃制度を求めています。非正規の均等待遇、ジェンダー平等を労働組合にはいつて実現しましょう!



国と経営の責任で、ケア職場の 賃上げ・増員を!



コロナ禍、いのちを守り支え続けている医療、公衆衛生、介護、福祉、保育、公務、交通、運輸、小売等の職場で働く労働者の生活と雇用の安定が急務になっています。とりわけ、ケア労働者から「病院も保健所も手一杯、精一杯。医師や看護師を増やし、命が守られる国にしてください。医療従事者の給与減はおかしい」「保育園は子どものいのちを預かる仕事。人手が足りません。待遇を改善し、保育士を増やしてください」と切実な声があがっています。22国民春闘では、政府と経営者にケア労働者の大幅賃上げと労働条件の改善、平常時から余裕ある人員体制や専門家を確保し、いのちと暮らしを守る社会の実現をめざしています。

